



高級住宅を背に子ども達が遊ぶ 住居の賑わい



見渡されてきた水上交通 隅田川代々木付近

城戸 心地よいゴチャゴチャ感(笑)。
森野 まだまだ残っていますよ、東京や大阪の町にはね。
城戸 いま自分の住んでいる街でも下町のアイデンティティを残すべく、手押しポンプの井戸を新たに作っています。水との共存というのは都市での大事なテーマですね。水上バスで行き来できるような水を活用した暮らし、暮らしにおける川や水辺の再生が必要です。

まず日本橋の再生を

森野 私の好きな風景は月島の運河と煉瓦長屋の間から超高層マンションを望む風景です。川の話で言えば、日本橋の真上に架かる首都高速道路の撤去を含むまちづくりアイデアコンペを実施中です。大学の建築や土木の研究室をはじめ1000の応募者が

名乗りを上げています。
浅井 あれは犯罪です(笑)。運河をむしろ新しくつくっていく時代で、アメリカのガラスなどでは通勤通学に使おうとしています。日本は水に恵まれているからこわしたんでしょうが、水のもつ情感が人の心を優しくします。犯罪は退治しなければならぬ(笑)。

森野 助産院の過去は全否定すべきで、日本橋は東海道の出発点、日本の道と橋のシンボルでしょう。撤去が実現しますと東京を楽しい街へ戻す第一歩となります。
森野 ソウルでは高架道路を撤去して、都市河川を再生しています。
浅井 どうもコンビニュータグラフィックで描かれた街はディテールが抜け落ちているのです。表面がタイルなのか石なのかわからなくなる。だからカメラを向けてもシャッターが切れないんです。これからの東京の売り物は複雑さです。(笑)これの基本をつくりなおす。

城戸 パリアフリーも重要な要素ですよ。ハンデを持つ人が家を出て駅から電車に乗るまで、どれだけ不自由な思いをしているのか、バリアをなくす、これも都市の最低限必要な機能でしょう。



首都高速道路で上空が覆われた 日本橋

うのは、都市開発というのは広い道路とか高いビルにするという既成の概念ででき上がっているように思えますね。広い道路も必要でしょうが、それと同時に車の入れない路地のような道も必要でしょう。治安の面があるかも知れませんが、ブティックな雰囲気などもあって、人間の暖かさが漂うような空間ですね。ただ広い道路と大きな建物と駐車場があるというのは僕の趣味ではない。都市には回路の多様さこそ必要なんです。学校にしても大通りに面した表門があっても、裏門から出ると駄菓子屋を売る店があったり、ボール遊びのできる小さな広場があったりして、こどもがほっとできる場所がある。そんなことを計画するのは経済的にもデザイン的にも大へん面倒なことでしょうが、そういう創造的な街ができると思えばいいでしょうね。

森野 路地裏、路地空間、これは今、日本の都市づくりにとって最も重要なテーマになってきています。私はラストチャンスだと思います。私たち団塊の世代は子供の頃に路地裏で遊んだ体験をもつ最後の世代なんです。その世代が役所や企業で幹部になり、路地裏の復活に力をふるうことが出来る立場にあります。これからはそんな遺伝子を持たない世代が主流となりますから、「今こそ路地裏だ」と、声を大にして言いたい(笑)。
浅井 日本人が解放されるためにはそういう空間が必要でしょう。確かに東京など大都市では都市のレベルが高くなったといわれますが、豪華なガラスはりのビルとか、とんでもなく高いレストランが増えましたが、それが豊かさではない、貧しいけれども豊か、貧弱というでもないのだけれども、みんなで生きている面白さがある街ですね。

浅井 人間が主役でなければ街ではないんです。いまは社会システムが主役になっていて、人が生きる空間が消えかかっています。都市再生とは人の再生です。空間は人の心を支配しますから。

城戸 私の住む下町では、街の人がどなり合っているように聞こえる(笑)。最初はびっくりしましたが、親切心で声をかけ合っているんですね。街の人は他人をほっとけない。家族みたいに思っているんです。若い人はかまわないで欲しいのかも知れませんが、それこそはさせない(笑)。
森野 あのあたりでは、「ひ」と「し」が使分けられない。江戸ことはでしようね。
城戸 そうそう、それをまた誇りに思っている(笑)。

森野 みんなで生活する街に対する共通する価値観が大切なですね。私の住むマンションでもさまざまな取り決めがありますが、価値観が同じで気持ちのいいコミュニティになっていきます。都市



ヒルサイドテラス 代官山

起伏のある地形をいかに計画内に建物を加えて街並み形成



森野 銀行の店舗などどうするかと、丸ビルとどうつなげるか、随分時間をかけ努力を重ねた結果ですね。しかし私がひそかに京都や神戸で「これはいいな」と開拓した店が丸の内へ出てきてしまいい、悔しいんです(笑)。
浅井 同情します(笑)。やめてくれといえないし、メディアに書かれて知れ渡ってしまう。

人が主役 緑が基本

森野 さて、これからの都市づくりとか都市再生への期待というのはどうでしょうか。
浅井 結論的にいえば都市のつくり方は人間の生き方にかかわってくるのです。

20年30年と街は成長もするし、やり方によっては衰退もするので、時間の概念をしっかりと持って、できるだけ先の時代にまで通用するようなコンセプトを確立することが大事でしょう。その街に若者のイマジネーションが働くようにね。
森野 代官山のヒルサイドテラスは数少ない成功例かも知れませんが、ところで建築の専門誌の写真は建物が主体で人を入れないですね。私は新聞の紙面をつくっているから人は必ず入れます。人が生きていく街の姿こそ大切ということでしょうか。
浅井 内面から読み取るような必然的な姿というか、経済よりも人間の存在を大事にするということから出発しなければいけない。
森野 都市づくりはみんなそれぞれが良かれと思ってやったことが、全体としてはとんでもない結果を招くことが多いですね。いま政府は市場原理にまかせることこそよしとしていますが、人と暮らしを支える都市づくりはそれだけでは危険だと思います。民間主導の都市づくりは活力を生み出しますが、ややもすると企業エゴの集合体になってしまう。公共セクターの役割と領域は決して少なくありません。民間だけでは出来ない関係者間の調整といった困難な局面で汗をかき、新しい都市機構の大切な役割のひとつとして期待したいですね。
城戸 私は緑ですね。これは利害のない街の資産、いつまで育っていく自然の資産だと思っんです。そんな中で子育てもしたいですね。



芝公園 汐入池より見る東京の新しい都市風景 汐留シオサイト



日本の道徳性のある 日本橋